

さらなるグレードアップ 低勾配対応防災瓦「^{きわみ}極」



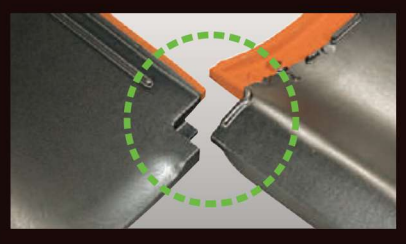
※写真はイメージです

究極の防水性能を誇る
ワンランク上の
低勾配対応防災瓦

※低勾配対応防災瓦をご要望の際には必ず「^{きわみ}極」とご注文ください。
※低勾配対応防災瓦「^{きわみ}極」は和形防災瓦とは別商品です。
※低勾配対応防災瓦「^{きわみ}極」のカラーは京銀のみとなります。



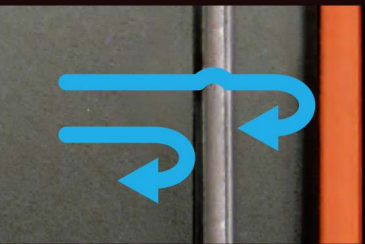
防災機能はそのままに



1 究極の高い水返し



2 先進の2重の水返し



低勾配対応防災瓦「^{きわみ}極」の
防水性能試験データ

製品名	屋根勾配	降水量	圧 力	試験結果
低勾配対応防災瓦「 ^{きわみ} 極」	2.5寸勾配	240mm/hr	1470pa	水滴付着

※防水性能試験結果は漏水量に対して「水滴付着」、「流れ出し」、「吹き出し」と表示。漏水量としては、「水滴付着」が最も少なく「吹き出し」が最も多い表現になります。

JAPANESE-TYPE

あなたの屋根は
「やきもの」ですか？



■安全に関するご注意

- 当社製品を使用される際は「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づく施工を推奨します。
- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

■製品に関するお願い

- 天然原料の粘土を使った自然素材である焼成瓦特有の色ムラが発生する場合があります。
- 日焼けによる色あせや、ホコリの付着など外的要因による色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根瓦としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表層面に発生する亀裂であり、本体生地までの亀裂ではなく、品質の劣化を伴うものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬面にピンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- 油などの汚れが付くと取れにくいのでご注意ください。
- 改良のため、仕様・外観は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- カタログ掲載の写真は、施工の一例であり実際と異なる場合があります。
- カタログ掲載の写真は、印刷のため実際の色とは多少の差があります。



■三州瓦 製造・販売

新東株式会社
SHINTO

本 社 / 愛 知 県 高 浜 市 論 地 町 4 - 7 - 2
TEL (0566) 53-2631(代) FAX (0566) 52-2217
東京支店 / 東 京 都 中 野 区 本 町 6 - 2 1 - 1 3
TEL (03) 5340-0811(代) FAX (03) 5340-0810
ホームページ http://www.shintokawara.co.jp

この印刷物の内容は2016年6月現在のものです。
2016.6.20(2)

JAPANESE-TYPE

三 州 陶 器 瓦
新東株式会社





※写真はイメージです Photo：京 銀

和形防災瓦

強力な組合せ構造で安心の耐震・耐風性能

強力な組合せ構造

“屋根全体をひとつの瓦に”というコンセプトから生まれた組合せ構造。ジョイント部のツメで瓦と瓦をガッチリ固定。強風にもズレや飛散、落下などを防ぎ、地震や台風にも威力を発揮します。



- 全長／305mm
- 全幅／305mm
- 働き長／235mm
- 働き幅／265mm
- 重量／2,700g
- m2当りの必要枚数／16枚
- m2当りの重量／43.2kg

■カラーバリエーション



京 銀 3寸勾配対応 ブラック 3寸勾配対応 ハインシルバー 銀華 セピア 黄金 (特注色) ニュー銀黒 マロンピンク (特注色) チョコレート (特注色) 青緑 (特注色) 青銅 (特注色)

耐震・耐風性能

和形防災瓦は強力な組合せ構造で強風試験に合格 (基準風速換算46m/s相当)

新東の和形防災瓦は“屋根全体をひとつの瓦に”というコンセプトから生まれた組合せ構造で、大型台風を想定した基準風速換算46m/s相当の耐風試験にも瓦がズレや飛散、落下などがなく (ガイドライン/施工)、強力な組合せ構造で耐風性能を確保しています。ガイドライン工法で施工された三州瓦は震度7クラスの実験に耐える事が実証されています。

標準屋根勾配と流れ長さ

標準屋根勾配	4寸	4.5寸	5寸	5.5寸	6寸
流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

【注】 1.これは三州産JIS瓦を安心してお使い頂くための標準値です。
2.屋根勾配が4/10未満の場合はご相談ください。
3.京銀とブラックは3寸勾配から対応。

注意事項

釉薬の特性上、釉薬溜まりや細かなキズが発生する可能性があります。



■色差 ■釉薬溜まり ■細かなキズ



日本の美意識、やわらかな光の景観、いぶし銀の優雅で落ち着いた和瓦です。

銀華

和形防災瓦
GINKA



- 全長／305mm
- 全幅／305mm
- 働き長／235mm
- 働き幅／265mm
- 重量／2,700g
- m2当りの必要枚数／16枚
- m2当りの重量／43.2kg

onigawara iemori



鬼瓦家守

社寺や日本建築の屋根に「守り神」として設置されてきた鬼瓦。主流の洋風屋根には設置困難な上、「鬼瓦＝守り神」という日本の大切な住文化が薄れつつあります。そこで戸建て・マンション・アパート・オフィスなど「全ての住空間に「守り神 鬼瓦」を」のコンセプトのもとインテリア商品として開発されたのが「鬼瓦家守」です。空間デザインを損なわないサイズ感と凹みを設けウォールナット材のベースが鬼瓦を多様なシチュエーションに対応します。鬼瓦とベースはビスで固定されているので、鬼瓦の取替えが可能です。設置も壁掛け据置き兼用ですので設置場所に困りません。家人の健やかな成長と発展をいつも見護る鬼瓦家守。家にかかる邪気を祓い、子どもの成長を見護る存在としても子々孫々とありつづけます。



守られて暮らす。

1400年以上の歴史がある瓦は日本の建造物を風雨から守り続けている。なかでも鬼瓦は、厄災祓いとして社寺や住宅屋根に飾られ、その形は鬼面だけでなく蓮華文・家紋・動物など様々であり、火事から守る意味を込めて「水」の字を配したものである。鬼瓦と似た文化として、沖縄のシーサーや狛犬などが挙げられ、これらはまさに日本の住文化の一つと言える。「守られて暮らす。」「鬼瓦 家守 onigawara iemori」は、住まいのカタチが今後どのように変化しても、全ての住空間に「守り神」として新しい役割を担う鬼瓦です。



鬼師という伝燈。

鬼瓦は通常の瓦とは違い、家に寄る邪気を祓い、そこに住まう家族を守る役割を持った瓦です。“鬼師”と呼ばれる作り手が魂を分け与えるような気持ちで、丹念に仕上げています。「鬼師の個性が鬼面に宿る」と言われるように、どことなく鬼師に似た雰囲気を持つところも愉しみの一つ。土を自在に操り、幾多のへらを使いこなし、無限の造形を成すその姿は、鬼を作り出す鬼神のごとく。近年では、住宅様式の多様化により、鬼瓦を屋根に飾る機会が減り、鬼瓦文化の継承が危惧されています。“鬼瓦家守 onigawara iemori”はその大切な日本の住文化と伝燈を守るひとつの試みでもあります。

